

渡良瀬遊水池を守ろう！

高松 健比古（ゴルフ場問題栃木県連絡会）

アツタカクナツテモ
アスコエハユケヤイ
アノクニ
アノアシハラ
ヒモウイダラ
メダ

小鳥
夕チノ
風景ノ
記憶

小野
十三郎

ニツイテ

栃木県藤岡町をはじめ、茨城・群馬・埼玉の四県にまたがる、広さ3300ヘクタールの渡良瀬遊水池に、今、「アクリメーションランド構想」に基づく大規模なゴルフ場開発が進んでいます。

足尾鉍毒事件の犠牲になった旧谷中村の跡地であるこの地は、大量の重金属を土中に堆積させながらも、現在、日本最大級の内陸の湿地として、200種にもものぼる野鳥をはじめ、数多くの生物が生息するきわめて貴重な場所となっています。

にもかかわらず、第三セクターの「渡良瀬遊水池アクリメーションランド振興財団（四県、地元市町村、東武などの民間企業六団体からなる）」は、この地を一大レジャーランドとするために、まずゴルフ場からと、急激な工事を進めています。さらに最近では、大規模な飛行場計画まで浮上していると聞いています。

こうした状況を憂えて、地元藤岡町には「水土と緑を考える会」が誕生し、遊水池の豊かな自然と、人間が共存できる道を真剣に考えながら、活動を続けています。

しかし、この「考える会」の公開質問状に対し、「財団」側は文書による回答を拒否するなど、強引に開発を進めてしまおうという態度が明白になっています。

みなさん、こんな状況を許してしまっても良いのでしょうか。

田中正造が生命を賭けてたたかった日本の公害問題の原点、そしてその歴史の跡に誕生した貴重な自然環境と無数の生き物たちのすみかを、日本国民の大多数が知らぬままに、レジャーランドなんかにしてしまっても良いのでしょうか。このままでは、遊水池の自然破壊にストップどころか、ブレーキをかけることさえ不可能になってしまいます。

みなさんに心から訴えます。

渡良瀬遊水池の歴史と現状を知って下さい。

そして、声を上げて下さい。

要望書、申入書、抗議文、質問状、何でもけっこうです。開発を進める『アクリメーションランド振興財団』に「もう開発をやめろ」、「遊水池の自然を守れ」と、言って下さい。

私達も「水土と緑を考える会」と連帯して、これ以上の自然破壊をやめさせるために何ができるのか、一生懸命に考えます。どうぞよろしく願いいたします。

*財団法人 渡良瀬遊水池アクリメーションランド振興財団

〒349-13 栃木県藤岡町大字藤岡1778 藤岡町遊水池会館内

*高松 健比古

〒321-43 栃木県真岡市道祖土25

(TEL. 0285-82-3071) ご連絡はできればハガキ・手紙等で願います。